

第100号

令和5年9月30日発行  
大峰寮・保護者会・後援会

# 大峰



いくとぴあ食花で“おしばなメダル作り”体験しました

# 新任の挨拶



**次長 坂井 弘**  
 寮の運営に、利用者の皆様、ご家族をはじめ、地域の皆様、関係者の皆様には温かいご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

令和5年4月1日から次長を務めさせていただきます。福祉施設での職務に初めて携わることとなり至らぬところばかりですが、大峰寮の発展と地域の福祉向上のために精一杯努力させていただきます。存でございますのでよろしくお願いいたします。

勤務して、数か月が過ぎる中、職員の利用者に対する深い理解と心温かな支援を感じ、そして利用者の方々の笑顔に助けられながら、不慣れな中でも施設の雰囲気にも少しずつではありますが慣れていくところ。8月23日に開催された、「夏のお楽しみ会」での出来事ですが、皆で行事を楽しんでいたところ、会場に流れる歌を聴きながらご家族を思い出して、涙する利用者が見受けられました。ご家族を思うその姿を見て、入所施設に携わることの責任の重さを改めて痛感したところです。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、これまで、利用者の方々の皆様、ご家族には、多大なご不便をおかけし、寂しい思いをされてきたことと思います。これからは、感染対策に留意しつつも、各種行事をできるだけ元の状態に戻し、よ

り一層の支援サービスの向上が図られる予定となっております。

一方、利用者の方々の高齢化、施設の老朽化、光熱水費等の物価高騰、さらには新型コロナウイルスと、大峰寮を取り巻く環境の変化によって、施設の運営は大変厳しいものとなっております。経営基盤を強化して、利用者の方々の支援を末永く持続可能なものとするのがいま最も大切なことであると考えております。

皆様に支えていただきながら、地域にとつてなくてはならない施設として、利用者の方々がいつまでも元気に明るく生活し続けていけるよう、微力ながら職務に精励してまいりますので、今後も更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 新任の挨拶



**員 章 正**  
 生活支援 前職は新潟市北区にある下水道総合メンテナンス事業の会社で環境保全作業員をしておりました。家族は妻、子供2人で去年8月に初孫が生まれました。趣味は卓球です。時間と相手があれば毎日でも練習するほど大好きです。

大峰寮に入社した経緯ですが、自分の子供達が成長し手がからなくなりました。障害のある方々の支援について考えるようになり、何か手伝いた

い、助けたい、頼ってもらいたいという思いがわいてきました。前職での仕事内容が体力的にも辛くなったこともあり仕事を探しており、大峰寮で働くことを決断しました。支援員の仕事は初めてで解からないことや至らないことだらけです。しかし毎日が充実してとてもやりがいのある仕事だと感じております。一日も早く入所者の方々のお役に立てるように努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

# 皆様こんにちは



**員 優 美**  
 生活支援 大峰寮で勤めさせていたでいてる小林優美と申します。

入社してあつという間に2か月が過ぎようとしています。はじめはご利用者様の話している言葉、訴えが全く読み取れず苦戦しました。そんな中、先輩スタッフがすぐにフォローしてくれて、忙しい中でも丁寧に指導してくださったおかげで、少しずつではありますが慣れていくことができます。明るいご利用者様がたくさんいて、いつも声をかけてくれて、分からないことがあると教えてくださって、本当に有難く思っております。まだまだ至らない点が多々あり、ご迷惑をおかけする事があると思いますが、ご利用者様が健康で安全に過ごせるよう精一杯努めてまいります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

# 新任の挨拶



**士 裕 子**  
 管理 代理を務めさせていただきます。皆様こんにちは。この度、遠藤管理栄養士の産休からあつという間に2か月が経ちましたが慣れない仕事もあり、毎日の業務をこなすのに奮闘しています。利用者の方々は皆、仕事に熱心かつ親切でそのような雰囲気の中で仕事をさせていただけることに感謝しております。

大峰寮の栄養士業務に携わること、知的障害がある場合、肥満ややせ、糖尿病や貧血など栄養に関連する健康問題の発生率が高いこと、また食行動においても早食い、過食、偏食、異食など、さまざまな問題がある事を知り、こちらの施設での栄養管理の重要性や多職種協働による栄養ケアの必要性を強く感じております。しかしながら、コロナ禍における様々な制限・物価上昇の影響もあり、思うような運営ができず、頭を悩ませることも多い日々でもあります。試行錯誤しながら、利用者様の笑顔の為にどうすればベストなのかを考えながら職務に励みたいと考えています。

約1年という短い期間ではありますが、利用者様や職員の方々とできるだけ多く関わり、日々の新しい経験の中で多くのことを学んでいければと思っています。至らぬ点も多々あるかと思いますがどうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス

5類移行後の対応

生活課長 須藤 純一

今年5月新型コロナウイルス分類が2類相当から5類に引き下げられました。しかしながら事業所といたしましては基礎疾患や重症化リスクの高い利用者様が多数いらっしゃることから、周囲の状況を見ながら段階を踏んで規制を緩めているところであり、徐々にではありますが日常生活を取り戻すべく日帰り旅行や買い物、バスハイク等感染対策を行いながら、外出する機会を増やしております。

まずは寮内に「ウイルスを持ち込まない」を大前提に、利用者、職員ともにこれまで同様日々の健康管理を徹底し、感染予防に努めております。利用者様におかれましては毎朝時に検温を実施し、体調のすぐれない方には抗原検査を行い早期発見に努めています。

また、一部制限はありますが、外泊や外出、面会等も可能となっており、事前連絡の上、来所をお願いできれば幸いです。

職員一同、今後もより一層の感染症対策を講じながら、利用者様にとって個々に寄り添った支援が継続できるよう努力してまいります。

感染症シミュレーション訓練を実施しました！！

今年の5月より、コロナウイルスは5類相当へと変更になりましたが、ウイルス自体は何も変わっておらず、感染力も強く油断がなりません。大峰寮では昨年のクラスター発生の反省を踏まえ、今年度から年2回の感染拡大防止訓練を実施することになり、7月に第1回目が実施されました。その時の訓練の流れについて紹介します。

①陽性者2名発生の連絡を受ける



②感染症対策委員会で協議



③全館放送にて、職員に周知



⑥利用者全員の検温



⑤ゾーニング



④職員は防護服着用し、消毒作業開始



⑦食事は Disposable 食器で提供。配膳用台車を使用し、各寮に食事を運ぶ。



⑧看護師によるチェック



# おおみねフォトアルバム

## 日常の様子



ひなたぼっこ



外部講師による機能訓練



イオン黄色いレシート  
キャンペーン



国道清掃



買物支援



## 入所部

移動販売「とくし丸」さんが来て  
くれました!

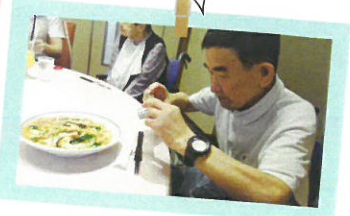


## 旅の思い出



## 行事(夏のお楽しみ会)

写真撮ろう



仮装して写真撮影